

2023年2月21日

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 取締役社長 後藤 高志
(コード番号：9024 東証プライム市場)
問合せ先 広報部長 多々良嘉浩
(TEL. 03-6709-3112)

2月21日より、秩父観光情報サービスサイト「のってみ秩父」を公開
～ 観光客のリピー率向上を図り、データ活用を通じた沿線価値向上を目指します ～

株式会社西武ホールディングス（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：後藤 高志）は、本日2月21日（火）より、秩父市を事業主体、横瀬町を広域連携自治体とする「秩父市・横瀬町スマートモビリティによるエコタウン創造事業」の一環として、秩父観光情報サービスサイト「のってみ秩父」（以下、本サービス）を公開しました。

本サービスは、政府が推し進める地方創生と社会のデジタル化実現に向けた「デジタル田園都市国家構想」に基づき、秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会が推進する「秩父市・横瀬町の観光型 MaaS※事業」において、当社が本サービスの構築を受託し、運用を行うものです。

※MaaS…「Mobility as a Service」の略

首都圏からのアクセスが良く、自然豊かで四季の変化を楽しめる秩父地域は、多くの観光資源を有する観光地として知られている一方で、観光地が様々なエリアに広がっているため、公共交通機関を利用した回遊利便性の向上が課題となっていました。本サービスは、秩父地域内での鉄道やバス等の公共交通機関を利用した複数の観光スポットの回遊や、飲食店をはじめとする観光情報をワンストップで発信し、シームレスな体験を提供することで、秩父地域観光の回遊性を高めるとともに公共交通機関を利用した観光需要を創出します。

本サービスでは、秩父地域の主要観光スポットと周辺の観光地を組合せて選択することで、公共交通機関で回遊することができるルートを提案する「旅行プラン作成」機能をはじめ、観光地を9つのジャンルに分けて地図上に表示することで旅行前の情報収集を便利にし、旅行中は今いる場所から次の目的地までのルートを提案する「マップ・ルート検索機能」、秩父地域の公共交通に関連するオンラインチケットが購入できる「交通チケット購入案内」等、旅マエ、旅ナカに役立つ各種機能をスマートフォンに最適化されたウェブページでご案内することで、スマートフォン1台で充実した秩父での観光をお楽しみいただける環境を提供します。

本サービスの提供により、公共交通機関を利用した秩父地域の観光体験価値の向上による観光客のリピー率向上への寄与を図るとともに、当社中期経営計画の骨子の一つである「デジタル経営」を推進するべく、取得されるデジタルデータと各種データの掛け合わせ、秩父地域における地域交通施策ならびに観光施策等での新たな施策への活用を通じて、沿線価値向上を図ってまいります。

「のってみ秩父」サイト URL

<https://chichibu.zip-maas.com/>

※スマートフォンでアクセスしてください。



サイトイメージ

「のってみ秩父」で利用できる主な機能

①旅行プラン検索

秩父エリアのメイン観光スポットを中心に、目的地へのルート、その周辺で立ち寄れる観光スポットや飲食店を一覧で表示。「+α」で旅行を楽しめます。

②マップ・ルート検索

観光スポットがマップで表示され、秩父の観光情報が一目でわかる他、旅の途中ではルート検索により今いる場所から気になるスポットや飲食店までのアクセスがすぐにわかり、観光がとても便利になります。

※ルート検索は現在地が秩父市・横瀬町内である場合に限り可能です。

③観光情報の確認

観光スポット情報を詳しく掲載しています。

9つのジャンルを別々に表示ができるので、ニーズに応じて簡単に情報収集を行うことができます。



④チケット購入案内

交通や観光スポットのチケット予約、購入ができる外部サイト情報を集約しています。

※本サービスは、当社が参画する秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会の取組みとして行います。

秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会による本件リリースについて

<https://www.city.chichibu.lg.jp/10425.html>

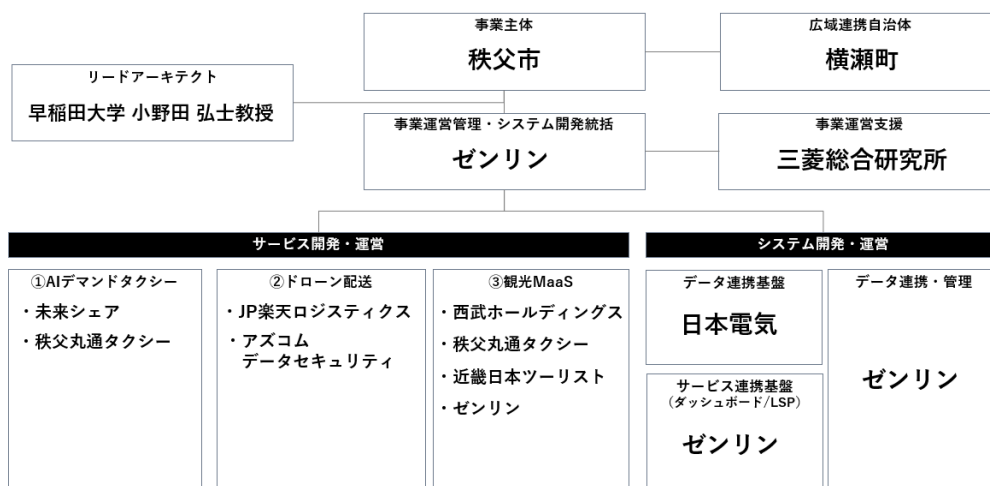
【ご参考】

■「秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会」とは

秩父市は2022年6月、デジタル庁が推進する「デジタル田園都市国家構想」のもと、内閣府の「令和3年度補正予算デジタル田園都市国家構想推進交付金 デジタル実装タイプ TYPE2」の採択を受け、横瀬町と共に「スマートモビリティによるエコタウン創造事業」を開始しました。事業を推進するにあたり、秩父市と横瀬町を中心に民間企業、業界団体等が集結し、「秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会」を設立しました。

山間部が多く、生活インフラの脆弱性が課題である秩父市・横瀬町において本協議会では、①AIによるデマンド交通、②ドローンによる緊急物資配送、③観光MaaSの各サービスを、秩父市・横瀬町の広域事業として実施していきます。サービスより得られたモビリティの情報（位置情報や利用者情報）及び秩父市・横瀬町等の行政が保有するデータ等を、データ連携基盤の機能を用いて収集、蓄積、分析することで、災害時や地域交通施策、観光施策で活用することを目指します。

（2023年2月現在の協議会構成員：秩父市、横瀬町、早稲田大学、日本電気株式会社、秩父丸通タクシー株式会社、公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社三菱総合研究所、株式会社西武ホールディングス、株式会社ゼンリン、株式会社未来シェア、秩父商工会議所、JP 楽天ロジスティクス株式会社、株式会社アズコムデータセキュリティ）



「秩父市・横瀬町デジタル田園都市推進協議会」実施体制

■これまでの西武グループにおける主なMaaSの取り組み例

地域・観光型 MaaS 「回遊軽井沢」

実施期間：2022年9月26日～2023年3月31日

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9024/tdnet/2177109/00.pdf>

デジタル企画乗車券の販売を開始します！（西武鉄道）

実施期間：2022年9月15日～

<https://www.seiburailway.jp/newsroom/news/QRtickets/>

「西武グループサステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョンに基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通じて創造する社会価値として「4領域と12アジェンダ（重点テーマ）」を設定し、積極的に取り組んでいます。詳細ページ：<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>

